

県医師会、病院協会、医師信組、十六銀 地域医療体制支援で協定



協定を結んだ(左から)石黒明秀頭取、松波英寿
会長、伊在井みどり会長、河合直樹理事長。岐阜
市神田町、十六銀行本店

県医師会と県病院協会、
県医師信用組合、十六銀行
は9日、地域の医療提供体
制を連携して支援するため
の協定を結んだ。飛騨地方
で課題となっている医療法

人や開業医の事業承継に対
し、強みを持ち寄って対応
する。
医師会と病院協会、医師
信用組合、地方銀行が一体
となって包括支援する取

組みは全国で初めて。

連携の内容は、医療機関
の経営基盤の強化や事業承
継、新規開業に関し、有益な
情報を提供する。事業承継、
新規開業は資金調達も支援
し、経営を含めて研修やセ
ミナーなどを開催する。県
医師会が運営する医師バン
クの活用、推進も図る。

岐阜市神田町の同行本店
で締結式があり、県医師会
の伊在井みどり会長は「地
域医療のための確かなサポ
ート体制が必要」。県病院協
会の松波英寿会長は「知識、
情報、お金が地域医療の継
続に資する」とあいさつ。県
医師信用組合の河合直樹理
事長は「地域医療の問題は
一つの団体で対応するのは
難しい」、十六銀行の石黒
明秀頭取は「銀行のコンサ
ルティング機能を発揮した
い」と話した。(松浦健司)